

群馬県防犯設備協会の紹介



一般社団法人群馬県防犯設備協会 事務局長

木村 忠

群馬県は189万人、上毛三山などの山々や、尾瀬、利根川などの清流といった豊かな自然、草津や伊香保、水上、四万をはじめ、たくさんの温泉があります。また、上州和牛や下仁田ネギ、しいたけなどの豊富な農畜産物や、おっきりこみに代表される粉食文化を誇り、自動車産業や伝統工芸品など、様々な産業も発達しています。

群馬は外国人の住民も多く、永住者の他に技能実習生、日本語学校の学生も増加傾向にあり、外国人による犯罪も、近年では民家を狙った広域強盗や太陽光発電所から銅線を盗む犯罪が増加するなど組織化し広域化した犯罪になっています。

さて、群馬県防犯設備協会の設立は平成22年1月12日で、先代の会長であります関口氏と鵜川様の尽力で県内多くの会員皆様で構成された協会でございます。

設立の翌月には渋川市にある高齢者施設で多数の死者を出す火災が発生し、群馬県防犯設備協会では防犯と防災と一緒に考えるようになりました。

内陸に位置する群馬県は自然災害が少なく防災に無知なところがあり、平穏な暮らしをしていると防犯についても関心がなく、外出は無施錠、夜間、自家用車のエンジンキーは付けっぱなし状態です。

特殊詐欺についても意識は低く、高齢者の集まる「いきいきサロン」を訪問し県内の被害状況を説明すると「私はね～そんなのには引っかかるないから」「うちにはそんな電話きね～から」と、特殊詐欺に対する意識が低く群馬県では平成28年度から高齢者向け講座や振り込め詐欺根絶センター養成講座を開催してきました。振り込め詐欺根絶センター養成講座は、現役世代の若者に群馬県内での特殊詐欺の発生状況や被害額、詐欺の手口などを共有し学んでもらい、受講者の身内家族に対し詐欺に遭わないよう注意を促したり、留守番電話機の設定、対策機器の設置を促進してもらい、群馬県内ではこのような活動をしたことにより発生件数を減らすことにも貢献できました。この事業は令和元年まで継続され、現在では引き続き、高齢者向け「体験実践型研修」を実施しております。

群防設は、独立運営する団体で県内自治体と連携し防犯カメラ等仕様書の作成をお手伝いし、設置場所の選定なども行っております。

過去には、設置場所の選定の他に機種選定、夜間の映像確認など用途に合った防犯カメラを安全で安心して暮らせる地域づくりのために各方面と連携してまいりました。この取り組みもコロナ禍では役に立つことはなく、防犯カメラの予算や予定も優先順位から外されてしまいました。

コロナ対策慣例製品の納入依頼を自治体から受けるも競合他社は多く、差別化を図るために現地での組み立てや環境に合わせた設定など行うことでつながりを継続してまいりました。

令和5年度後半に入り、ようやく次年度に向けた街頭防犯カメラの設置に関する予算化のための見積依頼などを受けるようになり、群防設としての活動も回復に向かうようになりました。ですが、

コロナ禍の間、各自治体担当者様も異動などで変更となってしまい内容説明など繰り返し行うこととなります。これはチャンスと捉え追加の提案を行うなどしています。

さて、そもそも木村は防犯設備協会の賛助会員でありますNTT東日本に勤務しており設備部の中でも営業職として勤務しておりました。そのころWindowsXPが一般の家庭にも普及することでインターネット回線を契約する人も増え、活動の一環として警察厚生会の会員登録をして警察職員のお宅へインターネット回線の提供やパソコンの設置設定と深くお付き合いをするようになり、また警察官の職務上のご苦労など知ることになり、様々な提案もしてまいりました。いくつかある中でもお話しできるのが、スマートフォンが世の出た翌年に、検視を支援するシステムとしてスマートフォンを使った画像伝送システムを全国でもいち早く県警へ納品させていただきました。これを完成させるまではたくさんご意見を伺い多方面の技術者の方の協力もいただきました。この方々とは現在でも交流があり、更にシステム内容を大きく追加したシステムも隣県への提案納品してまいりました。この後も次なる安全で安心して暮らせるシステムを構築中でございます。

少しそれますが、このころは両陛下（現在の上皇、上皇后）が、毎年、草津へお越しになり、これに関する臨時回線の敷設や保守管路及び拠点管理をさせていただき、毎年、夏のイベントとしてとても貴重な業務につくことができました。

今年は私も4月に還暦を迎えて地域協会のみなさまをお手本にさせていただきコロナ禍からの脱却に向けていきたいと考えております。訪問することが可能となった昨年末より、昔で言いますところの御用聞きをさせていただき、会員企業間の情報共有もWeb会議といった形で実施しております。

イベント等についても警察と連携し、また、県住宅協会、住宅メーカーとも共同で侵入盗対策なども実施を少しづつ始めております。

今後は、会員企業皆様と情報を共有し地域の皆様が安全で安心して暮らせる地域づくりを目指していきたいと考えております。

